



〈福山市めざす子ども像〉

福山に愛着と誇りをもち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

〈大門中学校区めざす子ども像〉

自ら考え、自ら学ぶ、自尊感情の高い児童生徒

秋の山 静かに雲の 通りけり ~夏目漱石~

空の高さに加え、窓を通り抜けていくさわやかな風から、季節の移り変わりを感じるようになりました。

食欲の秋、運動の秋、学びの秋…秋は、気候の良さから様々な活動で形容されますが、大津野小学校では10月2日(火)から読書の秋が始まっています。1か月に渡り本に触れる活動が、図書委員会を中心に企画・運営されます。虫の声の聞こえる秋の夜長に、お月様を眺めながらご家族で本について語る時間を持たれるのも一興かもしれませんね。



実物に触れる機会~社会見学~

9月中旬から下旬にかけて、1年生~5年生まで社会見学に出かけました。社会見学は、授業の中で実感することのできない本物に触れることのできる貴重な体験学習です。教科で学んだ知識を、実際を見学することで納得に変えたり、学習の中で新たな発見をするための疑問探しの場となったり、学年によって目的は様々ですが、子どもたちにとってはいずれも大発見の機会となったことには間違いありません。

コロナが明けたことで、働く方から直接お話を聞かせて頂いたり、触れて実感したりすることができ、どの子どもも充実した顔で帰ってきていました。

さらに学びが深まっていくことを願っています。

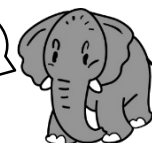


子ども主体・子どもを主語にする

2023年度(令和5年度)も、半分が終わりました。引き続き、子どもたちには、学校教育目標である次の3つを共に頑張っていこうという話をしています。

- おお 大きく広げる知識 ⇒ 「授業を大切に。」
自分で解決したり、友達と協力して解決したりしていくこと
聴いたり、表現したり、振り返ったりすること
- つ 積み上げる伝統 ⇒ 「当たり前前は当たり前前にはできる。」
挨拶、掃除、思いやりのある言動、話を聴く、決まりを守ること
- の のばす体力 ⇒ 「最後まであきらめず、やりきる。」

〇〇するゾウ



また、サイからゾウになってほしいという話もしています。サイはいつも「片付けをしなサイ。」「宿題をしなサイ。」と「~しなサイ。」と言われる人です。人から言われたいと何もしない人です。サイではなく、「よし、片付けするゾウ。」「よし、宿題するゾウ。」と、自分から「~するゾウ。」と動く人になってほしいということです。その一つとして、2学期から、宿題の出し方を少しずつ変えています。学年によってやり方は違いますが、やらされるのではなく、自分で選んだり、計画を立てたり、自分で考え、自分から進んで「家庭学習をするゾウ。」を各学年で実践しています。

学校のあらゆる教育活動の中で、子どもたちにさせるのではなく、子どもたちがする、「子ども主体・子どもを主語にする」ことを大切にしながら、子どもたちの挑戦を応援し、寄り添って参りたいと思います。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大津野小学校長 森 正之

お知らせ

★PTA 総会で配付しました2023年度の年間行事計画では、入学説明会の日時が2月1日(木)14時となっていますが、2月2日(金)14時に変更をしております。

★今年度は、「学校へ行こう週間」を実施します。期間は、10月30日(月)~11月2日(木)です。いつでも子どもたちの様子をご覧いただけます。是非、お越しください。

